

## SC年間販売統計調査報告 2019年

既存SC前年比: +0.4%

SC年間売上高(推計) 31兆9,694億円(前年比+0.8%・消費税抜・全SCベース)(確報値)※

### <全体概況>

・2019年(暦年)の既存SC売上高対前年比は+0.4%で僅かに前年を上回った。内訳はテナント総合が+0.8%、キーテナント総合が同▲1.5%。年間を通じては、消費税増税前の9月までは1月と7月を除いて前年を上回り堅調に推移し第1四半期(1~3月)から第3四半期(7~9月)までは前年比プラスとなった。なかでも9月は総合で+8.3%と増税前の駆け込み需要で大幅なプラスとなった。一転して、10月は買い控えによる反動減や大型台風の影響もあり総合で▲8.3%まで落ち込んだ。11月以降も消費税増税や暖冬による冬物商品の不振もあり11月、12月と連続して前年を下回り第4四半期(10~12月)は▲4.3%となった。

・立地別・構成別(表1)をみると、テナントは婦人衣料をはじめとした衣料品全般が秋冬物を中心に不振だったものの、飲食やサービス関連業種が好調で、全立地で小幅ながら前年を上回り底堅さがみられた。キーテナントは208SC中154SCで前年比マイナスと多くの施設で苦戦がみられ全立地で前年を下回った。

・立地別・地域別(表2)をみると、9地域中6地域で前年を上回り全体的には堅調だった。マイナス幅が▲4.1%と最大だった中国地方の中心地域は、広島市の中心地域で不振が続いたことなどが要因となった。

・都市規模別・地域別(表3)をみると、22の都市・地域のうち17の都市・地域で総合では前年を上回り全体的には堅調だった。総合で大都市が+0.1%、その他の地域で+0.6%と小幅ながらともにプラスとなった。内訳をみると、テナントは全国的に堅調だったが、キーテナントは大都市以外の全ての地域では前年を下回るなど苦戦がみられた。

・全SCベースの年間売上高は推計で31兆9,694億円(確報値・消費税抜)で前年比+0.8%となった。

・調査サンプル数:480SC(回収率48.0%)

・本調査は、2017年12月末現在の全3,217SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、集計・算出しています。

※2019年1月以後、本調査の売上高は消費税抜で集計・算出しています。(2018年12月以前の調査は消費税込)

2018年12月以前の調査(税込)には、一部「税抜」の調査サンプルが含まれます。

2019年SC年間売上高(推計)は、2018年SC年間売上高(推計)をベースとして算出していますが、

ベースとなる2018年SC年間売上高(推計)の32兆6,595億円は「税込」と「税抜」のサンプルが混在していたため、

「税込」で回答された値を「税抜」に補正(1.08で割り戻し)したうえで2019年SC年間売上高を推計しています。

なお、上記補正後の2018年のSC年間売上高(税抜)の推計値は31兆7,160億円となります。

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント
総合	480	0.4	0.8	▲1.5
地中 域心	大都市	66	0.8	▲0.9
	中都市	67	0.5	▲1.4
	小計	133	0.7	▲1.0
周辺地域	347	0.3	0.8	▲1.5

(注)

■立地

中心地域:人口15万人以上の都市(東京23区を含む159都市)で、  
商業機能が集積した中心市街地  
周辺地域:上記中心地域以外の全ての地域

■都市規模

大都市:札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜・名古屋・京都・  
大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市  
中都市:上記都市を除く人口15万人以上の都市

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

立地(SC数) \ 地域	総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄	
総合	480	0.4	0.2	1.1	0.3	▲0.7	0.6	1.3	▲0.6	▲2.6	1.4
中心地域	133	0.6	▲0.7	1.4	0.5	1.4	0.4	1.7	▲4.1	▲2.8	1.6
周辺地域	347	0.3	1.8	0.9	0.1	▲1.1	0.7	1.1	0.8	▲2.6	1.3
(SC数)	480	16	31	184	58	31	87	28	12	33	

(注)

■地域

北海道:北海道

東北:青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東:茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

北陸:新潟県・富山県・石川県・福井県

中部:長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿:滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国:鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四国:徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄:福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別  
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	480	0.4	0.8	▲ 1.5	
大 都 市	札 幌 市	11	0.0	0.0	-
	仙 台 市	5	1.2	1.2	-
	千 葉 市	5	1.2	1.2	-
	東 京 区 部	50	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 1.3
	横 浜 市	15	▲ 0.7	▲ 0.1	▲ 3.6
	川 崎 市	8	1.4	1.5	*
	名 古 屋 市	12	0.2	0.1	0.4
	京 都 市	7	0.0	0.3	▲ 0.5
	大 阪 市	20	1.8	2.0	0.2
	神 戸 市	17	2.4	2.8	0.2
	広 島 市	7	▲ 7.0	▲ 7.0	*
	北 九 州 市	2	*	*	*
	福 岡 市	8	0.7	0.7	*
	小 計	167	0.1	0.3	▲ 1.3
そ の 他 の 地 域	北 海 道	5	1.0	1.4	▲ 1.8
	東 北	26	1.0	2.4	▲ 2.2
	関 東	106	1.1	1.5	▲ 0.8
	中 部	46	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 1.7
	北 陸	31	0.6	2.2	▲ 2.0
	近 畿	43	0.8	1.9	▲ 2.3
	中 国	21	0.9	1.4	▲ 0.4
	四 国	12	▲ 2.6	▲ 1.9	▲ 3.3
	九 州・沖 縄	23	1.1	2.0	▲ 1.3
小 計	313	0.6	1.2	▲ 1.6	

※「その他の地域」には、大都市は含まない。

\* : サンプルが少数のため個別の値は公開していない。

表-4 キーテナント業態別  
売上高伸長率

キー業態	SC数	%
総 合	480	0.4
核なし	272	0.9
1 核	Dpt	9 ▲ 2.3
	GMS	116 0.2
	SM	38 0.5
	HC	1 *
	専門店	4 ▲ 2.2
	生協	6 ▲ 0.7
	Dgs	2 *
	小 計	176 ▲ 0.3
	2 核	26 ▲ 1.7
3 核 以上	6 1.3	

\* : サンプルが少数のため個別の値は公開していない。

表-5 立地別SC・テナント・キーテナント効率

立地(SC数)	売上高・店舗面積		売上高		店舗面積		1SC当り売上高 (千円)	坪効率 (千円)	1SC当り 平均面積 (㎡)
			(千円)	前年比	(実効㎡)	前年比			
SC総合	総合	480	6,204,181,474	0.4	9,545,624	0.1	12,925,378	2145	19,887
	中心地域	133	1,921,401,774	0.6	1,756,985	0.3	14,446,630	3609	13,210
	大都市	66	1,348,310,459	0.7	1,059,916	0.6	20,428,946	4198	16,059
	中都市	67	573,091,315	0.3	697,069	▲ 0.1	8,553,602	2713	10,404
	周辺地域	347	4,282,779,700	0.3	7,788,639	0.1	12,342,305	1815	22,446
テナント	総合	480	5,055,353,701	0.8	7,074,496	0.4	10,531,987	2358	14,739
	中心地域	133	1,789,860,586	0.7	1,641,555	0.3	13,457,598	3598	12,343
	大都市	66	1,253,574,562	0.8	998,459	0.6	18,993,554	4143	15,128
	中都市	67	536,286,024	0.5	643,097	▲ 0.1	8,004,269	2752	9,598
	周辺地域	347	3,265,493,116	0.8	5,432,940	0.4	9,410,643	1983	15,657
キーテナント	総合	208	1,148,827,772	▲ 1.5	2,471,129	▲ 0.5	5,523,210	1534	11,880
	中心地域	18	131,541,188	▲ 1.0	115,430	▲ 0.1	7,307,844	3761	6,413
	大都市	4	94,735,897	▲ 0.9	61,457	0.2	23,683,974	5087	15,364
	中都市	14	36,805,291	▲ 1.4	53,972	▲ 0.5	2,628,949	2250	3,855
	周辺地域	190	1,017,286,584	▲ 1.5	2,355,699	▲ 0.6	5,354,140	1425	12,398

注：売上高(総合)は、調査対象480SCの合計値です。

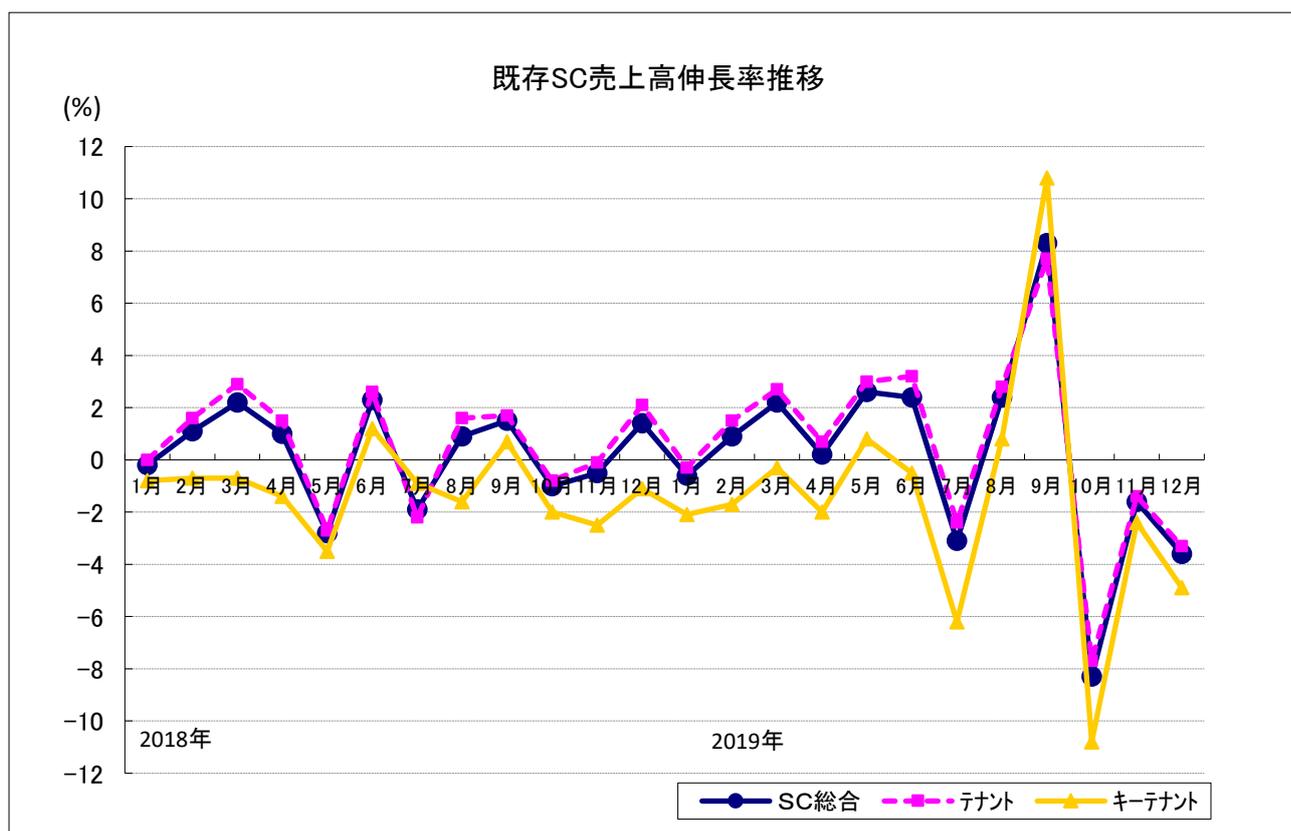


表-6 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		S C			百貨店	チェーン ストア
		既存SC				
		SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	▲ 3.4	▲ 3.1	▲ 3.7	▲ 2.2	▲ 5.1
	01年	▲ 2.2	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 0.4	▲ 5.2
	02年	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.1
	03年	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 3.2
	04年	▲ 1.7	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 2.8	▲ 3.5
	05年	0.3	1.5	▲ 1.9	▲ 0.2	▲ 2.6
	06年	0.3	0.9	▲ 0.7	▲ 0.7	▲ 2.7
	07年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 1.4
	08年	▲ 1.5	▲ 1.1	▲ 2.3	▲ 4.3	▲ 0.7
	09年	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 7.4	▲ 10.1	▲ 4.3
	10年	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 3.1	▲ 2.6
	11年	▲ 1.3	▲ 1.1	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 0.8
	12年	0.5	1.5	▲ 1.6	0.3	▲ 1.9
	13年	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 1.3	1.6	▲ 0.7
	14年	0.1	0.5	▲ 0.9	0.3	▲ 0.6
	15年	0.0	0.3	▲ 0.6	▲ 0.2	0.7
	16年	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 2.9	▲ 0.4
	17年	0.6	1.0	▲ 0.9	0.1	▲ 0.9
	18年	0.6	1.0	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 0.2
	19年	0.4	0.8	▲ 1.5	▲ 1.4	▲ 1.8
2018上半期	(1～6月)	0.7	1.1	▲ 0.8	0.0	▲ 0.3
2018下半期	(7～12月)	0.4	0.8	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 0.1
2019上半期	(1～6月)	1.3	1.7	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 1.3
2019下半期	(7～12月)	▲ 1.0	▲ 0.7	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 2.3
2018四半期別	(1～3月)	1.2	1.7	▲ 0.6	▲ 0.7	0.6
	(4～6月)	0.2	0.5	▲ 1.1	0.6	▲ 1.2
	(7～9月)	0.1	0.3	▲ 0.6	▲ 3.4	1.1
	(10～12月)	0.3	0.8	▲ 1.5	0.0	▲ 1.3
2019四半期別	(1～3月)	0.9	1.4	▲ 1.4	▲ 0.9	▲ 1.8
	(4～6月)	1.7	2.1	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 0.7
	(7～9月)	2.5	2.9	1.2	6.8	▲ 1.7
	(10～12月)	▲ 4.3	▲ 3.9	▲ 5.7	▲ 8.8	▲ 2.9
2018 月別	1月	▲ 0.2	0.0	▲ 0.8	▲ 1.2	0.6
	2月	1.1	1.6	▲ 0.7	▲ 0.9	1.3
	3月	2.2	2.9	▲ 0.7	0.1	▲ 0.1
	4月	1.0	1.5	▲ 1.4	0.7	▲ 1.2
	5月	▲ 2.8	▲ 2.7	▲ 3.5	▲ 2.0	▲ 2.3
	6月	2.3	2.6	1.2	3.1	0.1
	7月	▲ 1.9	▲ 2.2	▲ 0.9	▲ 6.1	1.5
	8月	0.9	1.6	▲ 1.6	▲ 0.2	0.1
	9月	1.5	1.7	0.7	▲ 3.0	1.9
	10月	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 2.0	1.6	▲ 0.7
	11月	▲ 0.5	▲ 0.1	▲ 2.5	▲ 0.6	▲ 2.5
	12月	1.4	2.1	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.7
2019 月別	1月	▲ 0.6	▲ 0.3	▲ 2.1	▲ 2.9	▲ 3.4
	2月	0.9	1.5	▲ 1.7	0.4	▲ 2.5
	3月	2.2	2.7	▲ 0.3	0.1	0.5
	4月	0.2	0.7	▲ 2.0	▲ 1.1	▲ 1.0
	5月	2.6	3.0	0.8	▲ 0.8	▲ 0.7
	6月	2.4	3.2	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 0.7
	7月	▲ 3.1	▲ 2.4	▲ 6.2	▲ 2.9	▲ 7.1
	8月	2.4	2.8	0.8	2.3	▲ 0.3
	9月	8.3	7.7	10.8	23.1	2.8
	10月	▲ 8.3	▲ 7.7	▲ 10.8	▲ 17.5	▲ 4.1
	11月	▲ 1.6	▲ 1.4	▲ 2.4	▲ 6.0	▲ 1.4
	12月	▲ 3.6	▲ 3.3	▲ 4.9	▲ 5.0	▲ 3.3
出典	日本ショッピングセンター協会			百貨店 協会	チェーン ストア協会	